

男女共同参画に関する作品

# 入賞作品集

【一行詩部門&写真部門】

## 入賞作品総評

**木村 松子** 審査委員代表（山形市男女共同参画審議会会長 山形大学男女共同参画推進室チーフ・コーディネーター）

「山形市男女共同参画推進条例」施行（4月1日）後、初の作品審査会となりました。今年度も素敵な作品、心温まる作品が多数寄せられましたことに感謝しながら慎重な審査を行いました。写真部門 17 作品、一行詩「一般の部」 33 作品、「中学・高校の部」 932 作品の中からそれぞれの入賞作品が全員一致で決定されました。

写真部門の優秀賞 2 作品は、世代は異なりますが従来の男性像に縛られない生き生きとした姿を捉えています。その様子や笑顔がとても魅力的でした。

一行詩の各部門の最優秀作品は、どちらも幼子を囲む家族の温かさが伝わってきます。読み手を嬉しい気持ちにさせてくれる作品です。

今年度はさらに特別賞（学校賞）が、山形市立商業高等学校および日本大学山形中学校に授与されることとなりました。この 2 校は男女共同参画に関する作品作りで熱心に取り組まれ、毎年、多数の応募と入賞がありました。感謝と共にここに報告いたします。

**市川 昭男** 山形市長

今年もたくさんの方々からご応募いただき、ありがとうございました。一行詩部門中学・高校の部は、学校として取り組んでいただいたご応募が多く、お忙しい中ご協力いただきました先生方に厚く御礼申し上げます。

各部門の作品とも、多角的な視点から男女共同参画が表現されており、特に、一行詩部門においては、『男だから』『女だから』ではなく『一人の人間』として捉えた作品が多くなっていました。折りしも、今年 4 月に『男女共同参画推進条例』を施行しており、互いが尊重しあい協力していこうとする男女共同参画の意識が高まっているということは、とても嬉しいことです。

また、今年度は、長年にわたり継続して作品を応募くださいました中学・高校に対し特別賞を授与しております。特に授業の一環として毎年取り上げていただいている事に敬意を表したいと思います。

来年度も各部門において多くの方からご応募いただき、男女共同参画への理解が深まっていくことを願っております。

## 審査員一覧（順不同、敬称略）

山形市男女共同参画審議会会長	山形大学男女共同参画推進室チーフ・コーディネーター	木村 松子
山形市男女共同参画審議会委員	山形市立第三中学校長	佐藤 真人
山形市男女共同参画審議会委員	山形市女性団体連絡協議会副会長	廣部 公子
山形市写真連盟会長		軽部 治悠紀
山形市企画調整部長		齋藤 順治
山形市企画調整部男女共同参画課長		橋本 義宏

## 男女共同参画都市宣言

社会のあらゆる場で 男女の人権は 互いに尊重されることが必要です

私たち山形市民は 真のパートナーシップの実現を目指し

さまざまな分野に 男女が平等に参画できる社会を創ります

次代を担う子どもたちに とともに信頼し支え合う大切さを伝え

市民一人ひとりが 力強く歩み続けることを誓い

ここに 山形市は 男女共同参画都市の宣言をします

平成 10 年 9 月 山形市

## 写真部門

応募総数 17 点

優秀賞



**さーどうぞ めしあがれ**

藤巻 幸子（南原町）

わが町のいきいきサロンでは給仕担当はほく達です。

### ●審査員からのコメント

主役を大胆に大きくとらえ、鋭くチェックしている女性軍を後方に見せるという画面構成が見事です。

優秀賞



**オレに任せろ！**

本田 千恵（工業高）

家庭科の実習の時に撮りました。将来は幼稚園バックに挑戦するそうです。

### ●審査員からのコメント

慣れない手つきの二人の表情がなんとも言えません。少し右によりカメラを低くして脇で見ていた女子生徒の顔を入れるか、あるいは女子生徒数人が周りを囲んでいたりしたらプロ級の写真になりました。

入選



**収穫の喜び**

今野 久子（飯田西）

趣味が高じて、雪国の山形で、南国のバナナを育て、収穫に喜ぶ夫。その側で見守る妻。ここに至るまでの共同作業は、バナナの実ぞ、知る。

入選



**子守は立派なイクメンの仕事です**

石井 愛子（寿町）

子守してもらっただけで母の仕事が楽にはかどり時には癒しの楽しみも得られます。

入選



**だいじょうぶかな？**

佐々木 清子（双月町）

心配そうに見守る祖父。夫婦で助け合って子育てしている姿を写したものです。

